
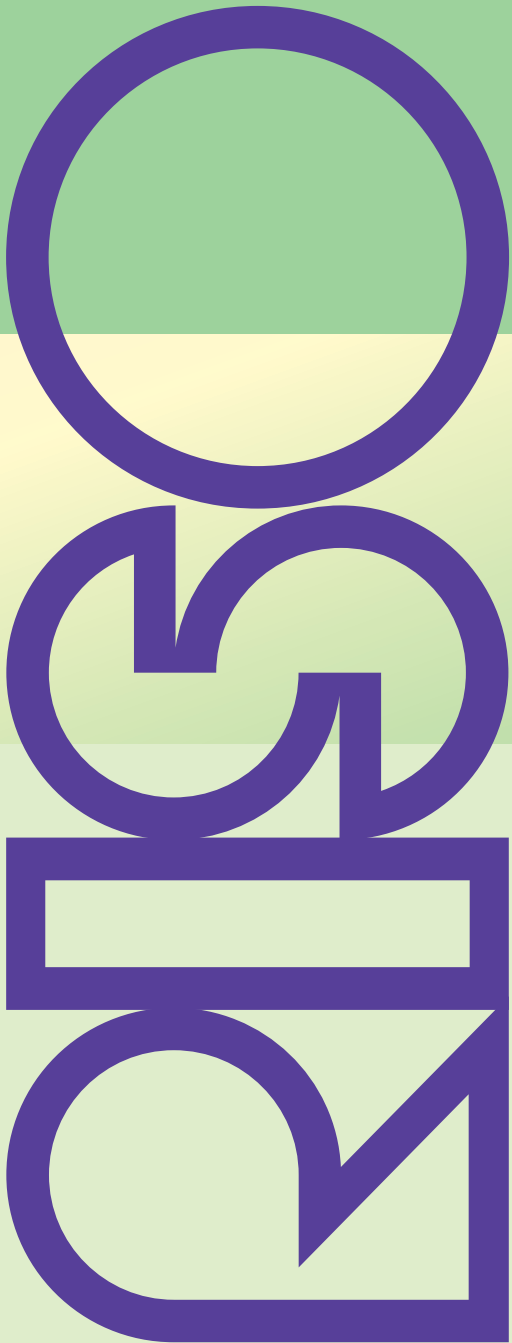


平成17年3月期 中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日

 理想科学工業株式会社



RISO
INTERIM
REPORT

株主・投資家の皆様へ

株主・投資家の皆様には、日頃から格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社平成17年3月期中間事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループでは、平成19年3月期に連結売上高1,000億円、連結売上高営業利益率10%を目指す中期経営計画(Riso Vision 07)を立案し、6つの基本方針と活動計画に則した企業運営を進めております。(P2参照)本計画によりコアビジネスである「孔版事業」による収益拡大に加え、新規事業「インクジェット事業」による成長基盤の確立を図っており、さらに高い顧客満足度の実現、法令遵守の徹底、ISO14001を中心とした環境マネジメント体制の充実など、企業の社会的責任の実行に取り組んでまいります。

中期経営計画の初年度にあたる今期は、昨年12月に発売した高速フルカラープリンター「オルフィス HC5000」の販売チャネルの強化・拡大に力を注いでおります。また、本年5月に高速デジタルプリンターの新製品「リソグラフ RZシリーズ」、10月には業界初毎分150枚で同時2色印刷を実現した「リソグラフ MZシリーズ」を発表いたしました。どちらも新たな主力商品として、今後拡販に努めていく所存です。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成16年12月

代表取締役社長
羽山 明

中期経営計画 Riso Vision 07

当社グループは、コアビジネスである『孔版事業』による収益拡大に加え新規事業『インクジェット事業』による成長基盤の確立を図るため、平成19年(2007年)3月期までの中期経営計画「Riso Vision 07」を策定し、着手しております。

基本方針

1. 新規商品開発の加速と開発体制の強化・充実
2. 孔版事業の更なる拡大への挑戦
3. 新規インクジェット事業の確立
4. 低コスト・在庫圧縮を実現する生産物流体制の構築
5. 将来の発展を牽引する人材開発の実施
6. 法令の遵守及び環境に配慮した企業運営

活動計画

● 開発部門 ●

新規商品開発の推進
コンカレントエンジニアリングの強化

● 営業部門(国内・海外) ●

コアビジネスの強化
「オルフィス HC5000」による新市場創造

● 製造部門 ●

海外生産体制の強化
在庫の大幅な圧縮への挑戦

● 本社部門 ●

人材育成
コンプライアンスの徹底

1. 連結売上高 1,000億円
2. 連結売上高営業利益率 10% を目指す

「リソグラフ RZシリーズ」を発売

理想科学は、各種新機構の搭載により操作性と画質を向上させた高速デジタルプリンター「リソグラフ RZシリーズ」を開発し、本年6月より発売しました。

「リソグラフ RZシリーズ」は、消耗品の誤使用や在庫切れなどの防止に役立つ新機構「RISO i Quality System (リソー・イクオリティ・システム)」の搭載と高性能D600dpiサーマルヘッドを用いた新画像処理の採用により、プリンター設定の最適化と高品質の画像出力を可能としました。また、同機は本体前面での消耗品交換を可能とするフロントオペレーション機構の搭載により、操作性が大幅に向上しています。

さらに、オプションのネットワークカードを接続することで、当社ページプリンター「プリオア」と連携したRISOハイブリッドプリントシステムにも対応可能です。出力枚数に応じて自動的にプリント単価の低いプリンターが選択され、経済的なプリント環境が実現できます。

「リソグラフ RZシリーズ」は、環境にも十分に配慮し、SOYインクに対応しています。また、さまざまな環境配慮設計により、グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)の定める特定調達物品に適合しています。



各種新機構の搭載で操作性と画質を向上させた「リソグラフ RZ570」

国内外のさまざまな展示会で、プリントソリューションを紹介

理想科学は、国内外の展示会への出展やフェアの開催を行っています。来場される皆様に、製品の展示や実演を通じてフルカラーからモノクロまでの各種プリントワークに対するさまざまなプリントソリューションをご紹介します。

海外では、ドイツのデュッセルドルフで開催された印刷業界向けの世界最大規模の展示会「DRUPA (ドルーパ) 2004」に「オルフィス HC5000」を出展し、小型の高速フルカラープリンターとして多くの来場者の注目を集めました。国内では、「ビジネスショウTOKYO2004」に出展し、当社が提唱する「コミュニカラー」によるフルカラープリントソリューションの魅力と可能性を広く伝えました。

また、当社独自の展示会として「RISO Printing Innovation Fair」を全国各地で開催しています。“カラーをもっと身近に!”をテーマに「オルフィス HC5000」の特長や多彩な機能を紹介し、チラシ作成用途を主としたカラープリント提案を積極的に行い、その優れた高速性を実感していただいています。他にも新製品「リソグラフ RZシリーズ」や「プリオア」なども展示し、さまざまなプリントニーズに対応したソリューション提案を広く行っております。



印刷業界向けの世界最大規模の展示会「DRUPA 2004」(ドイツ・デュッセルドルフ)

「環境報告書2004」を発行

理想科学は、平成15年度(平成15年4月1日～平成16年3月31日)の環境に関する取り組み状況をまとめた「環境報告書2004」を本年8月に発行しました。本報告書は、当社が初めて発行する本格的な環境報告書で、事業活動全般に関わる環境保全活動状況を詳しく記載しています。具体的な内容としては、新発売の環境配慮型製品を取り上げ、開発から物流に至る環境負荷を低減するためのさまざまな活動を具体的な成果とともに紹介しています。さらに、コンプライアンスなどの社会的活動状況の一部も掲載し、環境保全にとどまらず広く社会的責任を果たしていることを伝えています。

今回の環境報告書の編集方針は、幅広い読者を想定して高度な専門性の追求よりも、わかりやすさを重視しています。また、環境省の「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」に準拠した内容になっています。

理想科学では、本報告書を環境や社会的責任に関する取り組み状況を公表するための貴重な手段として、今後も内容をさらに充実させながら毎年発行していく予定です。



環境への取り組みをわかりやすく詳細に紹介した「環境報告書2004」

「環境報告書2004」の内容は、ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.riso.co.jp/eco/eco2004.html>

「プリントゴッコjet V-10」発売1周年 プリントゴッコ関連の新製品発売

「プリントゴッコjet V-10」は昨年10月に発売して以来、年賀状をはじめアートやホビーなどさまざまな分野でご利用いただいております。パソコンを使用せずに押し花・写真・リボンといった厚みのあるものを自由自在にレイアウトでき、画像合成できるという特長を生かして、創意工夫を凝らした作品づくりにお使いいただいております。

また、従来のプリントゴッコ関連の新製品として古典的なデザインだけではなくモダンな雰囲気にも調和する色合いが特長の「理想ハイメッシュインク日本の伝統色」(4色)、年賀状にプラスして手軽に使える豊富な絵柄を揃えた「プチ和風シール」(2タイプ・10種)、来年の干支の酉(トリ)を中心に多彩なイラストが満載の「プリントゴッコ専用年賀状イラスト集」(4種)を本年10月より発売を開始いたしました。いずれも平成17年酉年の年賀状づくりにも役立つ魅力的なカードづくりを応援するアイテムです。



発売1周年の「プリントゴッコjet V-10」



「理想ハイメッシュインク 日本の伝統色」
牡丹・白群青・緋色・抹茶色

経営実績—当中間期の概況

当社グループは、中期経営計画の初年度にあたる今期、新製品の販売展開の実行、設計技術・生産力の飛躍的向上、米州・中国販売の活性化、顧客指向に基づく企画・開発の強化の4点を重点課題として運営してまいりました。当中間期は、操作性と画質を向上させた新たな主力製品「リソグラフ RZシリーズ」を発表し、本年6月より国内での販売を開始したほか、高速フルカラープリンター「オルフィス HC5000」の拡販に注力しました。

以上のような活動の結果、当中間期の連結売上高は389億3千2百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

当中間期の販売実績を地域別に見ますと、国内では、印刷機本体の売上は苦戦しましたが、根強いサプライ需要や高速フルカラープリンター「オルフィス HC5000」の投入効果により堅調に推移しました。この結果、売上高は不動産その他の事業も加え204億7千4百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

米州では、直販が苦戦したことや円高の影響もあり、売上高は60億9千6百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

欧州では、フランスでの販売は好調でしたが、イギリス・ドイツ会社が計画を下回り、売上高は74億4千6百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

アジアでは、東南アジア市場は順調に推移いたしましたが、中国市場は競争激化の影響を受け当初計画を下回り、売上高は49億1千3百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

また連結の利益面では、売上原価が新製品投入にとまらなうコスト増加もあり175億8千5百万円（前年同期比2.1%増）、同比率は1.7ポイント上昇し45.2%となりま

した。一方、販売費及び一般管理費は5億5千8百万円減少し185億5千4百万円（前年同期比2.9%減）となりました。この結果、営業利益は27億9千2百万円（前年同期比14.8%減）となりました。営業外損益は、前年同期の10億2千4百万円の損失から6千3百万円の収益になりました。これは主として、為替差益1億8千3百万円を計上したほか、オルテック株式会社に係わる持分法による投資損失が前年同期に比べ6億7百万円減少したためです。これらの結果、経常利益は28億5千5百万円（前年同期比26.7%増）、中間純利益は16億9百万円（前年同期比53.8%増）となりました。

通期の見通し

当社グループは、新中期経営計画「Riso Vision 07」（P2参照）で掲げた重点課題に全力で取り組む所存です。

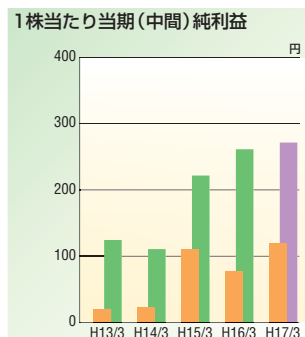
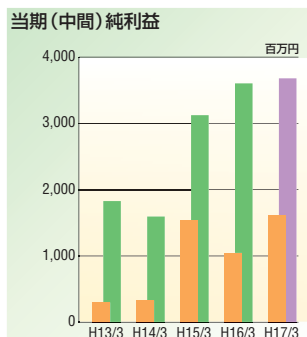
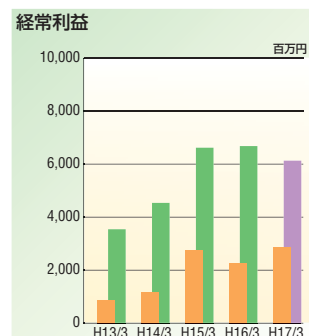
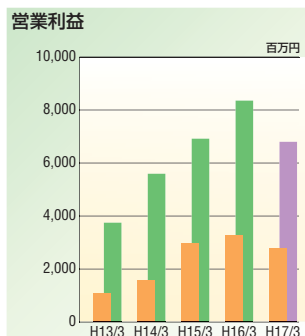
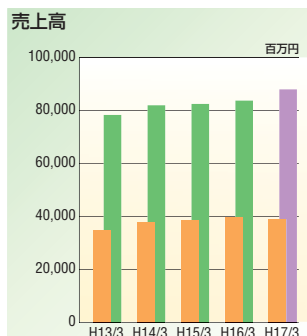
国内では、「オルフィス HC5000」の拡販による売上増加を想定しております。また、毎分150枚の高速2色印刷を実現した「リソグラフ MZシリーズ」を販売開始いたします。

海外は、「リソグラフ RZシリーズ」の投入効果による売上増加を見込んでおります。また、欧米市場では「オルフィス HC5000」の販売を開始いたします。

通期の連結業績見通しは、売上高879億円（前期比5.1%増）を予定しております。利益面については、新製品の全世界への拡販に向けた先行投資費用等の増加を見込んでいるため、経常利益61億3千万円（前期比8.2%減）、当期純利益36億8千万円（前期比2.1%増）となる見通しです。

なお、通期業績見通しにおける為替レートは、米ドル109円、ユーロ132円を前提としています。

業績ハイライト(連結)



凡例:

■ 中間期 ■ 通期 ■ 通期見込

		平成13年3月期		平成14年3月期		平成15年3月期		平成16年3月期		平成17年3月期	
		中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期見込
売上高	(百万円)	34,842	78,264	37,631	81,906	38,641	82,414	39,617	83,666	38,932	87,900
営業利益	(百万円)	1,089	3,749	1,578	5,955	2,955	6,918	3,279	8,353	2,792	6,800
経常利益	(百万円)	861	3,543	1,167	4,538	2,750	6,619	2,254	6,680	2,855	6,130
当期(中間)純利益	(百万円)	299	1,828	330	1,595	1,539	3,124	1,046	3,604	1,609	3,680
1株当たり当期(中間)純利益	(円)	20.38	124.47	22.67	110.71	109.68	221.66	77.22	261.29	118.73	271.43

財務諸表の概要 (連結)

貸借対照表

(資産の部) (単位：百万円)

科目	当中間期	前期
	平成16年9月30日	平成16年3月31日
流動資産	63,583	64,070
現金及び預金	31,169	30,377
受取手形及び売掛金	14,429	16,153
有価証券	1,800	2,799
たな卸資産	13,117	11,303
その他	4,040	4,287
貸倒引当金	△972	△851
固定資産	44,196	43,303
有形固定資産	33,118	32,758
建物及び構築物	8,709	8,934
機械装置及び運搬具	2,215	1,916
土地	14,899	14,899
その他	7,294	7,008
無形固定資産	2,068	1,885
ソフトウェア	1,154	1,163
その他	914	721
投資その他の資産	9,008	8,659
投資有価証券	3,298	3,375
その他	6,019	5,567
貸倒引当金	△309	△283
資産合計	107,780	107,374

(注) 有形固定資産の減価償却累計額35,916百万円

POINT 1

たな卸資産

新製品の販売開始に備え、
海外子会社の在庫が増加しました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

(負債の部) (単位：百万円)

科目	当中間期	前期
	平成16年9月30日	平成16年3月31日
流動負債	22,115	22,925
支払手形及び買掛金	9,343	10,347
短期借入金	5,274	4,799
一年内返済予定の 長期借入金	71	67
その他	7,425	7,711
固定負債	20,711	20,589
転換社債	16,915	16,915
長期借入金	218	260
その他	3,577	3,414
負債合計	42,826	43,515
少数株主持分	142	126

(資本の部) (単位：百万円)

科目	当中間期	前期
	平成16年9月30日	平成16年3月31日
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	37,407	36,673
その他有価証券評価差額金	567	730
為替換算調整勘定	△655	△1,163
自己株式	△1,402	△1,402
資本合計	64,811	63,732
負債、少数株主持分及び資本合計	107,780	107,374

POINT 2

支払手形及び買掛金

主に季節的要因により支払手形及び
買掛金が減少しました。

■ 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成16年4月1日～ 平成16年9月30日	平成15年4月1日～ 平成15年9月30日
売上高	38,932	39,617
売上原価	17,585	17,225
売上総利益	21,346	22,391
販売費及び一般管理費	18,554	19,112
営業利益	2,792	3,279
営業外収益	467	332
営業外費用	403	1,356
経常利益	2,855	2,254
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前中間純利益	2,855	2,254
法人税、住民税及び事業税	1,184	932
法人税等調整額	54	276
少数株主損益	6	△1
中間純利益	1,609	1,046

POINT 3

営業外費用

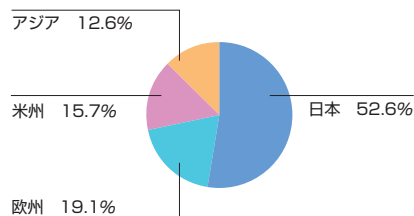
オルテック株式会社に係る持分法による投資損失が減少しました。

■ キャッシュ・フロー計算書

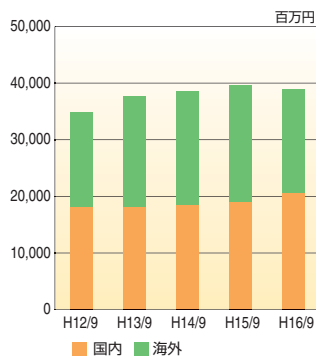
(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成16年4月1日～ 平成16年9月30日	平成15年4月1日～ 平成15年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,640	1,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△374	△3,540
財務活動によるキャッシュ・フロー	△625	△947
現金及び現金同等物に係る換算差額	150	△223
現金及び現金同等物の増減額	791	△3,155
現金及び現金同等物の期首残高	31,832	35,006
現金及び現金同等物の中間期末残高	32,624	31,850

地域別売上高比率 (当中間期)



国内・海外売上高 (中間期)



(単位：百万円)

	H12/9	H13/9	H14/9	H15/9	H16/9
売上高計	34,842	37,631	38,641	39,617	38,932
国内	18,000	18,132	18,399	18,995	20,474
海外	16,841	19,499	20,242	20,621	18,457

財務諸表の概要 (単独)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

(資産の部) (単位：百万円)

科目	当中間期		前期
	平成16年9月30日	平成16年3月31日	平成16年3月31日
流動資産	48,355	49,335	
現金及び預金	27,608	25,955	
受取手形	951	1,203	
売掛金	10,866	11,732	
有価証券	1,800	2,799	
たな卸資産	5,259	4,981	
その他	1,899	2,701	
貸倒引当金	△29	△38	
固定資産	54,176	53,713	
有形固定資産	30,751	30,765	
建物及び構築物	8,648	8,840	
土地	14,899	14,899	
その他	7,203	7,026	
無形固定資産	1,400	1,183	
投資等	22,024	21,764	
投資有価証券	3,298	3,375	
関係会社株式	9,876	9,876	
その他	9,063	8,715	
貸倒引当金	△214	△203	
資産合計	102,532	103,048	

(注) 有形固定資産の減価償却累計額32,947百万円

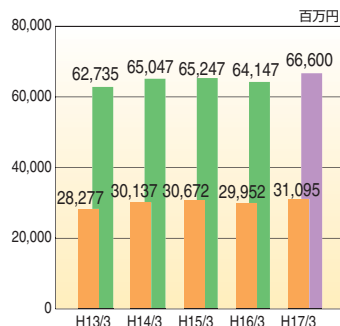
(負債の部) (単位：百万円)

科目	当中間期		前期
	平成16年9月30日	平成16年3月31日	平成16年3月31日
流動負債	14,795	16,307	
支払手形	1,942	2,410	
買掛金	7,442	7,886	
一年内返済予定の長期借入金	6	7	
その他	5,403	6,003	
固定負債	20,229	20,135	
転換社債	16,915	16,915	
長期借入金	144	151	
その他	3,170	3,068	
負債合計	35,024	36,442	

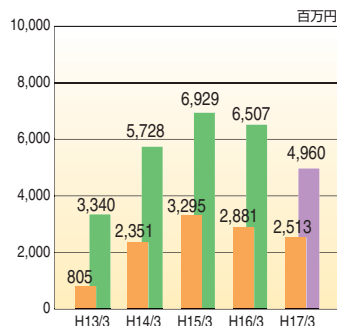
(資本の部) (単位：百万円)

科目	当中間期		前期
	平成16年9月30日	平成16年3月31日	平成16年3月31日
資本金	14,114	14,114	
資本剰余金	14,779	14,779	
利益剰余金	39,449	38,383	
(うち中間(当期)純利益)	(1,940)	(3,612)	
その他有価証券評価差額金	567	730	
自己株式	△1,402	△1,402	
資本合計	67,507	66,606	
負債及び資本合計	102,532	103,048	

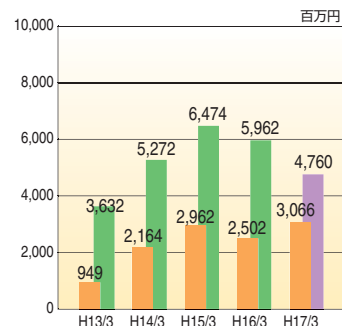
売上高



営業利益



経常利益

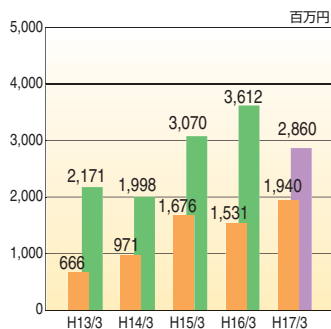


■ 損益計算書

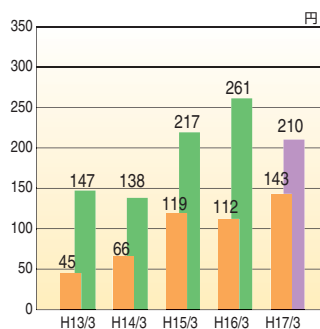
(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成16年4月1日～ 平成16年9月30日	平成15年4月1日～ 平成15年9月30日
売上高	31,095	29,952
売上原価	16,858	15,305
売上総利益	14,236	14,646
販売費及び一般管理費	11,723	11,764
営業利益	2,513	2,881
営業外収益	741	200
営業外費用	188	579
経常利益	3,066	2,502
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税引前中間純利益	3,066	2,502
法人税、住民税及び事業税	1,026	796
法人税等調整額	99	174
中間純利益	1,940	1,531
前期繰越利益	3,776	3,539
利益による自己株式消却額	—	—
中間未処分利益	5,717	5,071

当期(中間)純利益



1株当たり当期(中間)純利益



凡例: ■ 中間期
■ 通期
■ 通期見込

国内

当社の販売ネットワークは18営業部41支店、および販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。技術スタッフの育成は、研修センター（千葉県）を中心に全国で行われています。

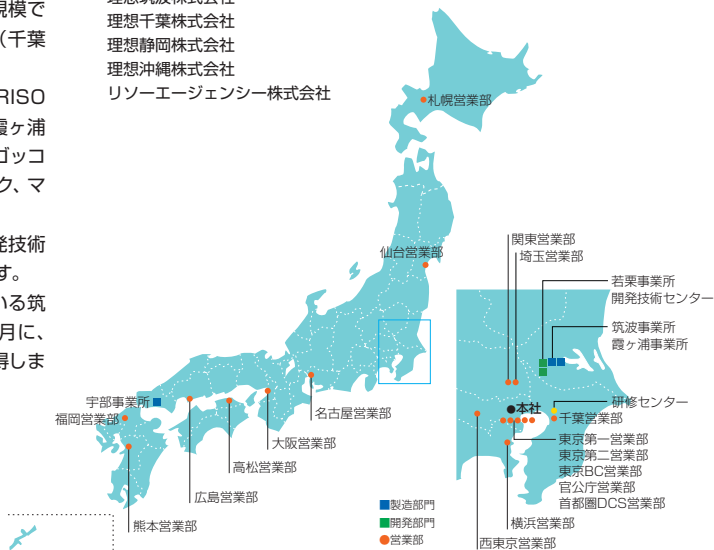
国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場（茨城県）はRISOプリンター、リソグラフのハードウェアを生産しています。霞ヶ浦工場（茨城県）はリソグラフのインク、マスターとプリントゴッコを生産しています。宇部工場（山口県）はリソグラフのインク、マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門は本社のほか、茨城県に若栗事業所と開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

開発技術センターと筑波工場・出荷センターで構成している筑波事業所は、平成12年12月に、宇部事業所は平成13年8月に、国際環境マネジメントシステム規格ISO14001の認証を取得しました。

◆国内の主な子会社

- 株式会社理想ベック
- 理想筑波株式会社
- 理想千葉株式会社
- 理想静岡株式会社
- 理想沖縄株式会社
- リソーエージェンシー株式会社



本社



若栗事業所



霞ヶ浦事業所



開発技術センター
平成12年、ISO14001 認証取得



筑波事業所
平成12年、ISO14001 認証取得
平成15年、ISO9001 : 2000 認証取得



研修センター



宇部事業所
平成13年、ISO14001 認証取得

海外

当社は17の海外子会社を中心に、リソグラフの販売やマーケティング、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちとのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。



● 海外の主な子会社

RISO, INC.
 RISO CANADA, INC.
 The Corporation of RISO de Mexico, S.A. de C.V.
 RISO EUROPE LTD.
 RISO (U.K.) LTD.
 RISO (Deutschland) GmbH
 RISO POLAND Sp. zo.o.
 RISO FRANCE S.A.
 RISO IBERICA, S.A.
 RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.
 RISO AFRICA (PTY) LTD.
 RISO HONG KONG LTD.
 RISO (Thailand) LTD.
 理想 (上海) 国際貿易有限公司
 珠海理想科学工業有限公司
 RISO KOREA LTD.
 理想工業 (香港) 有限公司



RISO, INC.
(アメリカ・ボストン)



RISO (Deutschland) GmbH
(ドイツ・ハンブルグ)



RISO (Thailand) LTD.
(タイ・バンコク)



RISO EUROPE LTD.
(イギリス・ロンドン)



RISO FRANCE S.A.
(フランス・リヨン)

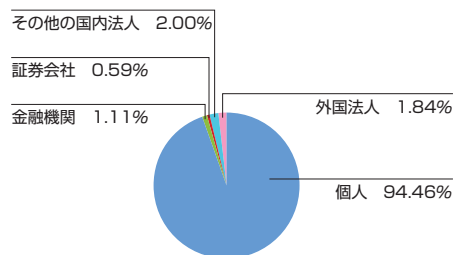


珠海理想科学工業有限公司
珠海工場 (中国・珠海)

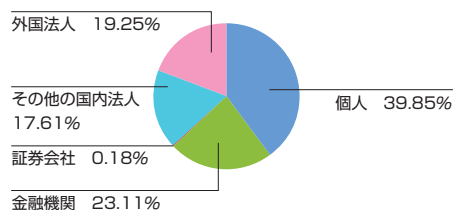
株式の状況 (平成16年9月30日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	33,920,000株 (前期末比増減なし)
■ 発行済株式総数	14,026,500株 (前期末比増減なし)
■ 株主数	2,709名 (平成16年3月末比87名減少)

■ 株主数比率



■ 株式数比率



■ 大株主一覧 (上位10人)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社理想社	1,235	8.80
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー)		
サブアカウント アメリカンクライアント	936	6.67
羽山 昇	804	5.73
財団法人理想教育財団	665	4.74
日本マスタートラスト		
信託銀行株式会社 (信託口)	646	4.60
日本トラスティ・サービス		
信託銀行株式会社 (信託口)	539	3.84
理想科学工業株式会社	468	3.34
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー)		
リユーエスタックスエグゼンテッドベンションファンズ	412	2.94
株式会社東京都民銀行	391	2.79
理想科学工業従業員持株会	370	2.63

■ 自己株式の取得について

平成16年6月25日開催の第50回定時株主総会において、定款に取締役会決議による自己株式の買受けに関する規定を新設することが承認可決されました。

◎平成16年9月30日までに自己株式の取得は実施しておりません。

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15号
新橋駅前ビル1号館 (登記上)
- 連絡先 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号
田町センタービル
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,488,048円
- 従業員数 1,555名
- 連結子会社 28社(国内9社 海外19社)
- 役員

代表取締役社長	羽山 明
専務取締役	野見山誠一
専務取締役	黒岩 経成
専務取締役	河合 伸雄
取締役	酒井 純司
取締役	竹内 佳郎
取締役	高橋 靖宏
取締役	斎田 知男
取締役	波田 祥吾
取締役	尾形 純一
常勤監査役	吉原 和子
監査役	*村上 愛三
監査役	*鈴木 瀧夫

(注) *印は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

■株主インフォメーション■

株主の皆様用の諸手続きに関する情報が、フリーダイヤルやホームページから24時間入手できます

当社の株式事務を取り扱っております中央三井信託銀行では、株主の皆様の住所変更、配当金振込などの用紙のご請求を、電話およびインターネットのホームページで24時間受付しております。ぜひご利用ください。

● 電話による用紙のご請求

受付フリーダイヤル：0120-87-2031

(操作の方法は、音声案内に従ってください)

- ・ご請求できる用紙 (4種類)

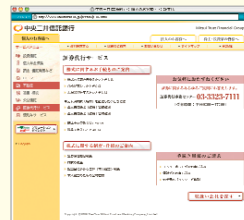
住所変更届	名義書換請求書
単元未満株式買取請求書	配当金振込指定書

● インターネットでも用紙のご請求を受付けております

ホームページアドレス：

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)



※保管振替制度をご利用されている方は、お取引のある証券会社へのお届けとなります

● お問い合わせ先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 03(3323)7111 (代表)

◆今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

決算期日	毎年3月31日
定時株主總會	毎年6月
基準日	毎年3月31日
	そのほか必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日（中間配当をする場合）
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 03 (3323) 7111 (代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店
銘柄コード	6413
名義書換手数料	無料
新株券交付手数料	新株券1枚につき印紙税相当額（ただし、満欄による場合は無料）
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書を決算公告に代えて、ホームページに掲載することといたしました。 社のホームページアドレスは次のとおりです。 http://www.riso.co.jp/kessan/
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル 電話 03 (5441) 6611

● お知らせ ●

株券失効制度について

株主様が所有の株券を紛失された場合、これまでは裁判所にて公示催告と除権判決というお手続きでしたが、今後は、当社の名義書換代理人である中央三井信託銀行に対して紛失株券を失効するための「株券喪失登録」を申請し、1年間異議申出が無ければ株券を再発行できることとなりました。詳しくは、中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

単元未満株式の買増制度について

当社定款規定の変更により「単元未満株式の買増制度」を導入いたしました。1単元（100株）に満たない株式を所有されている株主様で、買増しをご希望される方は中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。また、保管振替制度ご利用の株主様は、お取引のある証券会社へお問い合わせください。

● お問い合わせ先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 03 (3323) 7111 (代表)

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝5丁目34番7号 田町センタービル



本事業報告書は、環境にやさしい大豆インキと、再生紙を使用しております。